

アイリス Letter

保護者の皆様へ



2019年12月20日発行

第8号

広島女学院中学高等学校

聖書のことば

さて、イエスは目を上げ弟子たちを見て言われた。

貧しい人々は、幸いである、

神の国はあなたがたのものである。

今飢えている人々は、幸いである、

あなたがたは、満たされる。

今泣いている人々は、幸いである、

あなたがたは笑うようになる。

ルカによる福音書 6章20節、21節

たくさんの行事があった2学期も、中学讃美歌コンクール、そして中学・高校クリスマス礼拝をもって終了致します。短い冬休みではありますが、こんな小さなものである私たち一人ひとりに、神様がイエス・キリストを与えてくださった喜びをいただき、そしてご家族皆様が平安であることをお祈り致します。

さて、12月4日に、パキスタンとアフガニスタンで、医師として難民の救済活動をされていた中村^{なかむら} 哲^{てつ}氏が亡くなったことが報道されました。中村氏は、2016年9月に、文化講演会の講師として本校にお見えになりました。当時の高校生対象でありましたので、残念なことに、今の在校生は中村氏を知りません。

「隣人を愛す」ことは本校の大切な基本理念です。中村氏の生き様から、そのことに触れさせていたきたいと思います。ご本人の著書「中村哲 ほんとうのアフガニスタン」(光文社)からの文章です。

(校長)

2001年3月、ベシャワール会は首都カブールに急遽、5カ所の診療所を新しくつくりました。国連機関をふくむ諸外国の援助団体のいっせい撤退という信じられない行為への緊急措置でした。首都が無医地区になっては、カブール市民は病気にもなれません。私たちとしては、「だれもやらないなら、じゃ、私たちがやろう」ということです。カブールの市民といっても、元からいた富裕層の市民の多くは外国、またはベシャワールに逃げてしまっていない。ほとんどが、干ばつ被害から離村してきた避難民たちです。

(116頁より抜粋)

もともとベシャワールに行くハメになったのが蝶や山が好きだったからで、遊びがのびきならぬ事態に次々と遭遇し、足が抜けなくなったまでのことです。「エーイ、こうなったら行けるところまで行け。いまさら現地を見捨てて逃げれるものか」と言ったほうが事実に近い。「先生をそこまで駆り立てるものは何ですか」「やむにやまれぬ大和魂ですたい」「はぐらかさないでくださいよ」「それで納得されなければ、縁とでも申しませうか」などと、こんな問答を数えきれないくらいしてきましたが、じつは「はぐらかし」ではなく、本当なのです。

ご縁、と言うと皆さん笑いますが、「縁がありましたら」を現地語に訳せば「インシャ・アッラー(神の御意思ならば)」に近い。天の摂理の赴くところ我ここにあり、ということです。多くの出会いが私たちを動かします。私たちが意図して何か成ることは案外少ない。「人の意思」とか「やる気」だとかを無闇やたらに強調しても、どうなるものでもないのです。

(118~119頁より抜粋)

第 42 回 高校英語スピーチ&プレゼンテーションコンテスト

11月20日(水)、第42回スピーチプレゼンテーションコンテストがゲーンズホールにて行われました。高1はスピーチ、高2・インターナショナル部門ではプレゼンテーション形式で発表が行われました。後のゲストジャッジの講評にもありましたが、参加生徒はみな様々なトピックを見事なデリバリーで発表してくれました。各部門で1人ずつしか表彰はされませんが、9月から準備を始め、緊張を乗り越え発表し、最後には一人ずつ審査員から詳細な講評を聞き、自らの糧としました。また、MC、照明、ドラムロールなど、生徒会や部活動生徒の助けも借りながらのコンテストとなりました。当日会場には保護者の方も多数お越しくださり、誠にありがとうございました。

受賞者は以下の通りです。

【高1】	【高2】	【インターナショナル部門】
N・M (1-C)	K・Y (2-D)	I・F (1-A)

(英語科)

父親母親教室 (11月30日、参加保護者約70名)

今回は岸田裕子さん(本校卒業生、政治家・岸田文雄氏のご夫人)をお迎えし、「広島女学院の思い出、平和活動について」と題して、ご講演頂きました。

中高時代の楽しく懐かしい思い出からスタートしましたが、紙面の都合上、内容は割愛致します。

政治家のご夫人としてのエピソードとして、大臣夫人としてのお務めの内容などに触れつつ、最大のハイライトであるG7外相会合(2016年4月広島にて開催)「配偶者プログラム」を構築する際の思いを熱く語って下さいました。広島出身の者として、また本校卒業生として、ぜひ他国の外相夫人に「ヒロシマ」を伝えたい、地元の高校生に「ヒロシマ」を紹介してほしいと切望し、岸田さん含め5名の外相夫人(英、伊、加、仏)が本校を訪問されました。本校生徒は平和学習の紹介だけでなく、交流会でも臆することなく積極的に意見交換をし、大変充実した貴重な機会を頂きました。

今回の講演会を企画して下さいました PTA 役員の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(高校教頭)

冬休みの過ごし方

期末試験が終わってから新学期の授業開始まで1ヶ月もあります。この期間、旅行や行事が続いて生活のリズムを崩しがちです。健康に留意するとともに、寝坊の習慣がついたり、スマホなどを見る時間が増えすぎたりしないようにしましょう。

今や、ネット依存は社会問題化しています。中でもインターネットにつながった状態でゲームをするオンラインゲームは依存性が高く、ゲーム依存(ゲーム障害)は「疾病」であると2019年5月WHO(世界保健機構)が認定をしました。オンラインゲームは深夜にネット上で盛り上がるため、生活のリズムが破壊されてしまい、のめり込むと何が大切なことなのかという価値観をも揺さぶってしまいます。また、最初は無料でもそのうち有料サービスが必須になるアプリ内課金という機能があるため、家庭内外でトラブルを引き起こしがちです。

私たちの現実の生活はうまくいくことばかりではありません。簡単に自分を高めていけて評価や達成感を得やすいネットゲームの世界は、ある意味魅力的な世界に見えます。けれども青年期は人間関係を調整することを学んだり、自己評価をめぐる葛藤を自分なりの乗り越え方を見つけたりして成長していく大事な時期です。もちろんそのために家族の関わりが大切な時期でもあります。

ゲーム依存だけでなく SNS で承認を求め続けることも依存傾向のある行動であるといわれています。顔を合わせて豊かな人間関係を作っていけるよう、大人が環境を整える必要があるでしょう。

家族で過ごすことの多い年末年始ですが、ご家族内でのコミュニケーションを密にして、よいお休みをお過ごしください。

(生徒支援部)

保健室だより (8)

寒さが厳しくなると体調を崩して保健室にやってくる人も増えてきましたが、みなさん頑張って2学期を過ごしていたようです。冬休みに入り、ゆっくりと休息をとることで、心身共にリフレッシュしていけるといいですね。また、冬休みは生活リズムを整えるチャンスでもあります。これまでの生活を見直して、休み中により良い生活習慣を身につけましょう。冬は運動不足になりがちですので、家の中でストレッチをしたりラジオ体操をしたり、工夫して運動してみてください。3学期も元気に登校してきてくれることを楽しみにしています。

(保健室)

心の健康 (8)

日々寒さが増しています。人の心は暑さ寒さや体調に影響を受けます。

こう寒くなってくると、どこの家庭でも暖房器具を使用します。いろいろな暖房方法の中から自分に合った暖房器具を使って温度調整し、風邪を引かないよう気をつけます。その中で、炬燵(コタツ)という言葉の思い浮かべるだけでも家庭的な暖かさを感じてホッとします。寒いと身体が縮こまり、心も一緒に委縮しやすくなります。暖かい環境を用意するのも大人の役割の1つでしょう。心の暖房は人間関係の中にあります。冬は親と子どもが心を通い合わせて会話するチャンスがいっぱいです。

(カウンセラー)

生徒の活躍



《中学》

◇個人の活躍

* 第41回中学生の税についての習字

・中国納税貯蓄組合連合会会長賞

U・Y (3-3)

・広島東納税貯蓄組合連合会優秀賞

M・S (3-4)

《高校》

◇個人の活躍

* 第58回全国高等学校生英作文コンテスト

(全国英語教育研究団体連合会主催)

2・3年の部 入選

M・H (2-C)

M・S (2-C)

* 第65回西日本ショートトラック

スピードスケート選手権大会 女子総合

T・H (1-E) 3位

* 高1美術選択の夏休み課題

コクヨ株式会社主催 Campus Art Award 2019

(ノートの表紙デザインコンペ)

地区優秀賞 (中国・四国地区)

H・M (1-C)





今月の聖句

「エッセイの株からひとつの芽が萌えいで
その根からひとつの若枝が育ち
その上に主の霊がとどまる。

知恵と識別の霊

思慮と勇気の霊

主を知り、おそ畏れ うやま敬う霊。」

(イザヤ書11章1・2節)

待降節に歌われる讚美歌96番の歌詞になっ
ている箇所ですが、「エッセイ」って何？

「植物の名前だろう」と思っている人が多いと
思います。株、根、若枝という単語が出てくるの
で、そう考えるのが自然です。ですが、正解は人
名。ダビデ王の父親の名前です。イエスの誕生当
時、「救い主はダビデの家系から出る」と信じら
れていたので、「ダビデの家系」を表すために「エ
ッセイの株」という表現になっているのです。

そして、この「株」から萌えいでた「ひとつの
芽」にイザヤが抱いていたイメージは、切り株か
らひょろっと生えた「ひこばえ」です。誰も期待
していなかったところに顔を出した新芽。サムエ
ル記上16章でダビデが選ばれる場面を読むと、
そのことがわかります。

ちなみに、以上のことは中3の聖書で教えてい
るのですが、筆者の周囲の女学院卒の（私から
すると超優秀な）先生方は、皆さん「エッセイ」
を植物のことだと思っておられました。「エッセ
イ＝植物」説だった皆さん、大丈夫です。

(聖書科Y.I)

1月の行事予定

1	水	元旦
2	木	特別休暇
3	金	特別休暇
4	土	休日
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	始業の日 高3センター対策授業 休み明けテスト(高1・2)
9	木	(中3) 選択科目2号用紙提出
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	成人の日 高1・2進研模試
14	火	1限8:40～ 40分授業 7限(総)
15	水	[EP]
16	木	
17	金	月曜授業
18	土	大学入試センター試験 中学入試準備(3限～) ミャンマー研修
19	日	
20	月	センター試験自己採点(RCC文化センター) 中 入試 生徒休日
21	火	
22	水	高3登校日 卒業記念礼拝 [EP] 1限8:40～ 40分授業 休み明けテスト素点確認
23	木	月曜授業
24	金	
25	土	高2進研プロシードテスト(午後、希望者) 英検(学校実施) (L・総)
26	日	
27	月	国公立大学2次試験出願 (2月5日(水)まで)
28	火	高2進研プロシードテスト(放課後、希望者)
29	水	
30	木	
31	金	(中学)漢字検定(中1～中3)

